

イワヤシダ

Diplaziopsis cavaleriana (H.Christ) C.Chr.

メシダ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地がごく稀で、個体数が少ない。(現況:R-)

形態

葉は1回羽状複生で柔らかい草質。羽片は互生で5~13対離れてつく。頂羽片は側羽片と同形で同大である。葉は2形で孢子葉は長く、幅が狭い。葉柄は淡緑色で基部に黒褐色の被針形、全縁の鱗片をつける。根茎は直立するか短く這う。

国内分布

本州(関東以西)、四国、九州。

県内分布

加賀中央区、南加賀区。

生態など

夏緑性の地表植物である。地上に生育し、根茎は短く、葉を叢生して直立する。好陰湿潤地性、繁殖は孢子による。孢子は夏季に熟し始め、風で散布する。

生育環境

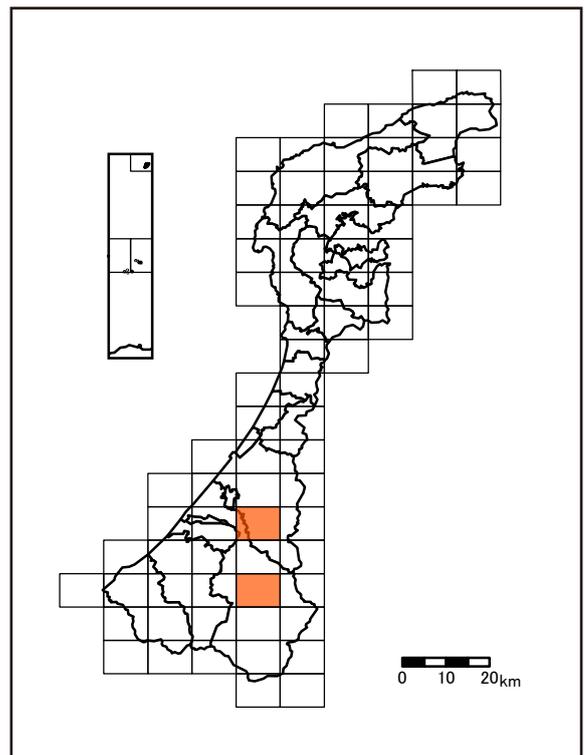
低地や山地帯の溪流沿いの林下、夏緑高木林の陰湿な林内に生育する。

危険要因

森林伐採、河川改修、産地局限。



林 二良・2007年6月28日・南加賀



県内の分布